

シラバス (授業計画)

授業科目名	開講学年・学期	必・選	単位数	担当教員名
ロジスティクス特論	1・2年生	選択	2単位	小川 雄平
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>企業の原料調達から生産・製品販売に至るまでの物流・管理の現状について理解を深め、その課題を明らかにすることを目標とする。なお、授業を通して修士論文の作成にも役立てることを目指す。</p>				
<p>授業の概要</p> <p>ロジスティクス (Logistics) とは、元来は軍隊の兵站を意味したが、企業の部品・原料調達から生産・製品販売までの物流過程とその管理を指すようになった。経済のグローバル化に伴い企業の部品調達網 (サプライチェーン) は、アジアを巻き込んで重層化・複雑化している。本講義では、主に NIE s・ASEAN・中国等の東アジア経済との関連で企業の物流過程を解明し、新聞報道の事例等も取り上げて詳細に解説する。</p>				
<p>授業計画</p> <p>第1回 オリエンテーション</p> <p>第2回 生産の国際化・国際分業の重層化と企業内貿易</p> <p>第3回 貿易摩擦・円高と日本企業の生産・輸出基地の移転・再移転</p> <p>第4回 NIE s・ASEAN・中国の経済発展とサプライチェーンの構築</p> <p>第5回 自動車産業に見る FTA 利用のサプライチェーン</p> <p>第6回 小括と討論</p> <p>第7回 輸送量の増大・効率化とコンテナリゼーション</p> <p>第8回 コンテナ船の大型化と海運業の国際アライアンス</p> <p>第9回 パナマ運河の拡張とパナマックス型コンテナ船・大型タンカー輸送</p> <p>第10回 東アジアの港間競争の激化と中国港湾の躍進</p> <p>第11回 日本企業のグローバル化と国際物流の変化</p> <p>第12回 地方港湾の国際化=釜山港のハブ化と5大港湾の地位低下</p> <p>第13回 小括と討論</p> <p>第14回 東アジアの地域経済協力と物流協力体</p> <p>第15回 シベリア鉄道・中欧班列・朝鮮半島南北間鉄道・日韓トンネル</p> <p>第16回 まとめ</p>				
<p>履修上の留意点、準備学習等 (事前・事後学習)</p> <p>事前学習：配布プリントに目を通して疑問点を明らかにしておくこと。(2.0h)</p> <p>事後学習：講義内容の復習と授業中に指示された課題に取り組むこと。(2.0h)</p>				
<p>テキスト</p> <p>苦瀬博仁編著『ロジスティクス概論』白桃書房、2,800円 (ISBN978-4-561-75200-4)</p> <p>テキストに加え、プリントも準備する。</p>				
<p>参考書・参考資料等</p> <p>授業中に指示する。</p>				
<p>成績評価の方法・基準</p> <p>成績は、授業への取り組み (70%) とレポート (30%) により評価する。</p>				